

2017 AUTOBACS SUPER GT Round 6 第46回 インターナショナル SUZUKA 1000km

2017年8月26日(土)~8月27日(日)

決勝 レポート

171 Laps



場所:鈴鹿サーキット (三重県) 1周 5,807m

天候:晴れ / コース:ドライ / 気温:32°C / 路温:45°C / 観客動員数:45,000人

7位完走

2017年 SUPER GT 第6戦の決勝が鈴鹿サーキット(三重県)で行われた。朝から晴れ間が広がる暑い日差しの中でのスタートとなった。

8月27日(日)

＜決勝 171LAPS / 12:30～＞

スタートは山内英輝が受け持つ。山内はスタート直後でストレートの速い#33ポルシェに抜かれ9位になるが、20周目には5位まで挽回し、25周目に1回目のピットイン、リアタイヤ2本交換及び給油、山内から井口卓人に代わる。28周目で12位走行、39周目に1度目のセーフティーカーが入る。54周目に2回目のピットイン、タイヤ4本交換と給油で井口から山内に交代しピットアウト。81周目に3回目のピットイン。給油のみで再び井口に代わる。



www.rdsport.net

86周目の時点で8位を走行。90周目で2度目のセーフティーカーが入り実質7位で再スタート。102周目に4回目のピットイン、タイヤ4本交換と給油で井口から山内に代わる。112周目に130Rで2台パスして6位、119周目には5位まで浮上する。131周目に5回目最後のピットイン、リアタイヤ2本交換及び給油で井口に代わりコースに戻ったが、前車を追い詰めることができず7位でレースを終える。なお、GT500クラスの優勝は#64 Epson Modulo NSX-GTが、GT300クラスは#65 LEON CVSTOS AMG-GTが制した。



■本島監督 コメント



ドライバーもチームスタッフも素晴らしい仕事をしてくれましたが、現在のBOPでBRZが持っているポテンシャルを最大限引き出す事が出来ませんでした。勝つために何が必要か、今一度じっくりデータを見て今後につなげたいと思います。暑い中、最後まで応援してくださった多くファンの方々には大変感謝しております。トップを走るBRZ、表彰台のドライバーを見て頂けなかったのが残念です。次戦タイも頑張ります。本当に有難うございました。

■井口 卓人 コメント



昨年の再現をする為に鈴鹿に入りましたが、厳しいレースになりました。練習走行ではトラブルが出来てしまい、思い通りのテストが出来ずに、予選に挑みました。予選のアタック自体は悪くありませんでしたが、苦しい予選になりました。決勝ではタイヤリヤのみ交換やタイヤノーチェンジの作戦で上位進出を狙いました。チームもドライバーもノーミスで完璧なレースができたと思いますが、7位でチェックを受ける事になりました。今のBOPだと、現状の結果がいっぱいといったところではあるのですが、残り2戦で結果を出せるように、しっかりと準備したいと思います。

■山内 英輝 コメント



悔しいという気持ちが強いレースでした。ただ、現状のルールの中ではベストを尽くせたのではないかなどと思います。単に後ろを走っているだけでは勝てないので、なんとか前に出られるように、挑戦し続けることが肝心だと思っています。今より更にコーナーを速く走るということを目標に、もっと高いレベルにしていかないと、ライバルを抜きしていくのは難しいなと感じました。次戦のタイは、悔しさをバネに勝てるように頑張りたいと思います。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/> 、
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2017/sgt/report/>もご覧ください

2017年8月27日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net